

### 和気あつめごと なみんす

11月20日から24日までの4日間に渡り、保健センターで「無添加のみそづくり」が行われました。これは、健康づくり活動の一環として各地区で数年前から行われているものです。今回は、金巻・興野地区の希望者が23人集まり、初めて参加した人も好きな会話をしながら、和気あつめごとという愛称の中での作業が進められていきました。みそは、半年から1年後においしくいただけるそうです。



### おじいちゃん 夕方は気をつけましょう

11月25日(火)、高齢者等の交通安全戸別訪問が行われました。これは、夕方や自宅周辺での交通事故が多いお年寄りに年末に向けて気をつけてもらうと、町内の交通安全指導員ら交通対策協議会の皆さんが、善久・山田地区を戸別訪問したものです。当日は、新潟西警察署長と交通対策協議会の会長である町長も各家庭を訪問し、夜間反射バンドやパンフレットを配りながら事故防止を呼びかけました。

### 学校・家庭・地域一体の いじめ対策

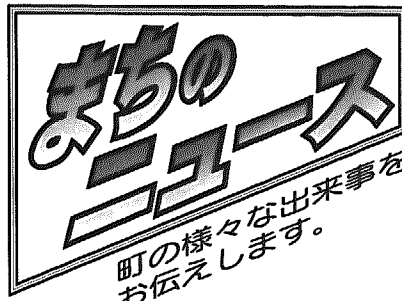


11月28日(金)、校庭で町いじめ対策委員会が発足しました。これは、家庭・地域関係者、福祉・司法関係者などの専門家と町内小・中学校の関係者を委員として、学校・家庭・地域が一体となったいじめ問題への取り組みを行うための設置されたものです。第1回目の委員会は、委員長に町青少年育成町民協議会長の鈴木昭三さんを、副委員長に人権擁護委員の武石佐武郎さんを選出し、今後、いじめに関する情報交換や何かあったときの学校・家庭・地域の役割を話し合いました。



### ふすま張りの リズム

11月28日(金)、北部地区公民館で表具講習会が行われました。年末をひかえたこの時期にふすまと障子の張り替えの技法を学んでもらおうと今年から始めた教室です。約40人の参加者は、講義形式で作業の要領を学んだあと、講師の手際のよい実演を見ながら張り方のコツを学んでいました。



### 軽妙な おしゃべりと 人形劇

11月20日(木)、農村環境改善センターで黒崎おやこ劇場主催の人形劇「ちび大くんとあそび」が行われました。軽妙なおしゃべりをしながら、ハンカチでアツという間にウサギやネズミを作ってくれたり、昔懐かしいケン玉の妙技を見せてくれたりして、人形劇とともにたっぷり楽しんだ時間でした。

### 手づくり楽器で音楽会

11月20日(木)、農村環境改善センターでさわやか学級「親子リズムあそび」が行われました。これは、親子で交流をはかりながら、子育てについての悩みや不安について一緒に勉強しているものです。5月から始まり11回目となる当日は、新潟市の乳児園「子供の家」の高橋園長先生が講師となり、音楽に合わせた指あそびや、マカロニをプラスチックの容器に入れた手づくりのマラカスで、秋の音楽会と題して各グループ毎に歌を発表したり、親子で音楽を楽しみました。



### 親子で手づくり 竹とんぼ

11月22日(土)、総合体育館で第1回親子竹とんぼ飛ばし大会が行われました。これは、次代を担う青少年の健康のふれあいの場を提供しようとして、町青少年育成町民協議会が主催したものです。当日は、約40人の親子が竹とんぼのつくり方を民具クラブの方から指導してもらいながら、ふだん持ち慣れない短刀やキリを用い、約1時間かけて出来上がった竹とんぼは、各自3回飛ばし、合計の飛行時間を競い合いました。中には、5秒近く飛ぶものもあり、歓声がわいていました。



### 税に関する中学生の標語・作文

先月号でお知らせしましたとおり、今月号から平成9年度「税に関する中学生の標語・作文」の作文の部入選作品を紹介いたします。

#### ●町租税教育推進協議会入選作品

##### 金賞 「人間の陰の支え」

3年2組 天野 望さん (立花第3)

消費税が今年の四月に3%から5%に引き上げられ、それも当たり前になってきた頃、この作文を書くために、税についていろいろ勉強しました。それまでは、「消費税」と言う言葉くらいしか知らなかったけど、消費税の使い道、そして、その他の税についてもいろいろ知ることができました。

税は、私達の身の回りにある公共施設や道路、上・下水道を作るために使われたり、お年寄りや障害者の人達のために使われます。自分だけでなく、人の役に立っているのです。そう言う大切な税だからこそ、しっかりと納めなければなりません。しかし、お金がかかってしまうために、いろんな問題が起こってしまいます。

今、私達の住む黒崎町には中学校が1校しかなく、しかも全校生徒あわせて約千人もいるマンモス校なのです。それに、地域によっては、自転車や登校しても三十分近くかかってしまう人もいます。そこで、もう一校別の中学校を作ろうと計画しているようですが、話は全然進んでいません。たぶん、一番の問題は建

##### 設置についてだと思います。一つの学校を作るには、何十億というものがたくさんのお金が必要になります。しかし、これは全部税金が使われるのです。しかし、同町のある小学校では、コンピュータ室や調理室が新しく作られたし、別の小学校では、今体育館を作っている最中です。こういうことに次々と税金が使われていくので、その話はいお後になってからになりそうです。けれども、私達は早くできてもらうと便利になりたいと待ち望んでいます。

ほかに、新潟市と黒崎町との合併問題があります。これも、予定より話が遅れておりこの合併に反対する人もいます。その大きな理由の一つにも税金の問題があります。今、新潟市は地方税(事業所税)を納めています。黒崎町は納めていません。しかし、合併すれば、黒崎町民も納めなければならなくなってしまいます。

私だって、今はまだ消費税くらいしか払っていないけど、大人になれば働いて給料をもらえようにならなす。けど、その給料から所得税や住民税を払わなければならないし、車を買ったら自動車税も納めなければなりません。それに、もし消費税が10%などに引き上げられていたら……。

確かに税はともにお金がかかってしまいます。しかし、それだけで悪

#### 物扱いにしてしまおうのは間違いです。私達の知らない所でとても役に立っていている税を少しでも理解して、大事に使っていかなくてはなりません。特に二十一世紀を背負っていく私達は、税について正しい知識を持ち、これかなくもなることのない税の問題に正面から立ち向かっていきたいと思います。

税は私達の陰の支えなのだから……

#### 銀賞 「税金と僕」

3年2組 横山 喬之さん (興野四区)

僕は税金といわれても、消費税といふものしか知りません。ほかにも石油税、関税、所得税、住民税、酒税、特別地方消費税、自動車税、揮発油税などの税金があるようです。僕達が一番身近な消費税は、平成元年四月一日に導入されて、店でお菓子を買ったとき消費税が取られ、自動販売機のジュースも百円から百円になり、小遣いが足りなくなりました。わけもわからず、消費税という言葉覚えて、

「お母さん、消費税いれていくらになる？」  
「消費税が入ってもたりる？」  
といった会話がふえました。そして、そのころの親との会話では、「消費税ってなに？」  
「どうしてこうなったんだろう」という質問ばかりしていたように思えます。

いま、中学三年生になり、今年の四月には税率もアップして、僕の生活に消費税の支払いは日常の習慣になってきています。あらためて税について調べてみると、ぜんぜん知らないことに気がつくきました。公民では、

#### 「納税の義務」

また、資料集では、「税金とは、国民が「社会の一員であるための会費」である。一方、政府は「会費を納めるばかりで自分は何も恩恵にあずかっていない」と国民に感じさせると、不満が爆発するから、要求の強いところへお金を使う傾向がある」といわれる」と書いてあり、どのように税金が国民のために使われているか調べてみました。

社会保障、教育などの経費、公社・公団・地方公共団体へ投資、住宅建設や生活環境整理などに活用されています。

身近なところでは、毎日歩いている通学路、学校、部活の道場、体育館等々いままでもあたりまえに使っていた施設が税金で建てられていること、学費で勉強していること事態が税金のおかげの上にならなす。

夏休みに全中総体で四国に行ってきました。その時に、瀬戸大橋を渡りました。その橋は一兆一千億円以上も税金がかかったそうです。その橋のおかげで、本土と四国が結ばれ、瀬戸内の人々の生活も便利になったそうです。